



高原の自然館ニュースレター

苅尾電波塔

第108号

2013.1.15

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめて「かりお」
の名前をつかっています。

もくじ

お知らせ

－観察会への意見募集

活動報告

－冬を生きる動物の生態

観察会案内

－雪原のトレッキング

－早春のトレッキング

お知らせ

●観察会への意見を募集します

専門家を講師に、年間30回以上行なっている自然観察会への意見を募集します。「こんな観察会を開いてほしい」「もう一度やってほしい」など、自由な意見をメール・Fax・はがきでお寄せください。
1月23日必着でお願いします。

連絡先：

西中国山地自然史研究会

〒731-2323

広島県山県郡北広島町川小田75

北広島町役場 芸北支所

tel; 0826-35-0114 fax; 0826-35-0386

e-mail : staff@shizenkan.info

担当：河野

観 察 会 報 告

● 冬を生きる動物の生態

開催日時：2013年1月14日（月）10:00

講師：上野吉雄

みぞれのような雪が時折降っては止む曇り空の中、高原の自然館前に23名が集まりました。当日は60cmほどの積雪で、昨年に比べると5分の1と少ない積雪でしたが、参加した子どもたちは雪を楽しんでいました。

講師は上野先生です。今回は自然館の裏から「おーいの丘」を回り、千町原を通り、道路に出て一周して戻るコースで、かんじきやスノーシューを履いて出発しました。

出発をしてすぐにテンがいた痕跡を見つけました。雪を歩いてできた道の大きさや、足の形からわかるそうです。「テンは民家の屋根裏に入ってネズミを捕ったり、住み着いて冬を越すこともある」と教えていただきました。また、雪の重みで寄生した宿主の木から落ちたヤドリギを見つけました。ヤドリギの実実は冬場に鳥類が食べるエサになるそうで、落ちていた枝にはほとんど実が残っていませんでした。

新雪に足をとられ、苦戦しながらも進んでいくと、今度は背の低い木からウサギの食跡を見つけました。ウサギの食跡は枝の部分がナイフで切った様に鋭く尖るのが特徴で、他の動物との区別がつくそうです。他にも、ヒヨドリの鳴き声を聞き、雪の上で生活するトビムシやクロカワゲラという小さな小さな虫を見つけました。トビムシはお腹にバネのようなものがあり、雪の上をとび回って逃げてしまうので私は姿をみることができませんでした。

小川を抜けると、立派なヤマナラシの木がありました。木の周りの雪がうっすらと黄色く染まっています。最初は「何かの動物の尿かな？」とっていると、尿ではなく樹液だと知りました。この樹液は凍結を防ぎ、それが枝先から出たのではないかとのことでした。また、樹液の匂いなのか、うっすらと甘い香りがするようですが、残念なことに寒さで鼻が詰まり、その匂いを感じるできませんでした。

千町原と道路の境目では、より多くのトビムシを見つけました。ここではしっかりと姿をみることができ、さらには、アリやハチ、クモを

見つけました。どれも普段よく見る姿とは違い、体が小さく、動きがゆっくりとしていました。

道路にでるといつも見慣れていた景色とは印象が変わり、出発場所が見えてくるまで自分がどこを歩いているのか分からないほどでした。除雪された地面に足をおろして、雪の深さや、去年の積雪量に驚きつつ、観察会は終了となりました。

前夜からの積雪で足跡は見られませんでした。食跡や小さな昆虫など、意識をしなければ見られない光景や生きものを確認することができました。寒い季節でも様々な方法で、雪の上や雪の中で生活しているものがたくさんいるということを知ることができて、とても有意義な観察会となりました。 [はたもとやすひこ]



足下に気をつけてゆっくりと出発。雪原ではどんなものが見えるかな？



鳥達がほとんど食べてしまったヤドリギに少しだけ実が残っていた。



小さな小さなカワゲラが見えるかな？



肉眼で見るのは難しい、小さなトビムシ。雪の上で元気に飛んでいた。



大きなヤマナラシは、葉も落ちて雪で白くなっていましたが、樹液を出して、寒い中でも生きていることを見せてくれた。



一面白色に染まったことで見慣れているはずの道路も、どこか幻想的な景色に見えた。



クロスカントリーを使うと、下り道も楽々と通過。

【みなさんの印象に残った物】

「虫が多かった(3)」「雪、クモ」「トビムシ(2)」
「小さい昆虫が見られたこと」「雪の中に生き物があんなにいるのには驚いた。」

【参加したみなさんの感想(抜粋)】

「かんじきが面白かった」「大勢の参加で楽しかったです」「楽しかった(2)」「はじめての雪上散歩でとても楽しかったです」「雪の上で暮らしている虫がいるとは思わなかった。すごく面白かった!!」「雪の中でも色々なことが見られて良かった」「昨夜の雪で動物の足跡がなくて残念」

観 察 会 案 内

観察会に参加される時には、次のようなものを持参してください。カメラ、双眼鏡、ルーペ、図鑑などもあれば、楽しいと思います。

基本セット：山を歩ける服装、雨具、飲み物、おやつ、筆記用具、メモ帳

作業セット：作業ができる服装、長靴、軍手、雨合羽、飲み物、おやつ

● 雪原のトレッキング

開催日時：2013年2月16日（土）10:00

集合場所：高原の自然館

講師：上野吉雄

準備：基本セット、かんじき・スノーシューなど

定員数：30名

参加費：一般=300円

賛助会員=100円

正会員・中学生以下=無料

かんじきレンタル=400円

冬の霧ヶ谷湿原を歩きます。どんな姿を見せてくれるのでしょうか？冬に活動するいきものが残した食跡、足跡など痕跡はたくさんあります。そこから分かることを上野先生が解説してください。厳しい寒さに対するいきものの知恵や、自然の威力を感じましょう。



● 早春のトレッキング

開催日時：2013年3月24日（日）10:00

集合場所：高原の自然館

講師：上野吉雄

準備：基本セット

定員数：30名

参加費：一般=300円

賛助会員=100円

正会員・中学生以下=無料

春はどこまで八幡高原に近づいてきているでしょうか？雪が残るなか、いきものたちは活動を始めているのでしょうか？1月や2月の観察会では感じられなかった春のきざしをみんなで探しましょう。



新年あけましておめでとうございます。年末年始を寝正月で過ごしていたのに、ふと曜日を思い出そうとすると、感覚がまだ2012年、平成24年と勘違いしてしまいがちです。ボーッと1日を過ごしてばかりでなく、もっとしゃっきりしないといけませんね。まだまだ冬は続きますが、凍結による怪我や事故には気をつけて、まだ見たことのない冬を探してみようと思います。（はたもと）

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先（ご意見・ご感想もお待ちしています）

高原の自然館（こうげんのしぜんかん）

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原 119-1

tel. & fax : 0826-36-2008

<http://shizenkan.info/>

staff@shizenkan.info